

そう だい しれん とも
総 題 「試練を共にされるキリスト」

だいろっ か ちから かぎ たたか
第6課 力の限り闘う

しもむらかず み
下村和美

いち あんそくにち ごご
1. 安息日午後

こども ころ けいけん だんせい じよせい じよせい むすこ にじゅうねんまえ ころ いらい かのじよ いか
子供を殺される経験をした男性と女性がいました。女性は、息子を20年前に殺されて以来、彼女の怒りと
ひつう おお いま か だんせい むすめ ころ
悲痛の大きさは今も変わっていませんでした。しかし、男性は、娘をテロリストに殺されましたが、テロリストを
ゆる かみ ころ きず かた だんせい けいけん じんせい もっと くら とき けいけん わたしたち
赦し、神によって心の傷がいやされたと語ります。この男性が経験した人生の最も暗い時の経験は、私達
にとって神の癒しについて教えてくれています。

こんしゅう
今週のポイント

こんしゅう じぶん つみ たたか かんが みつ
今週は自分と罪との闘いで考えられる3つのポイント

いち つみ たたか とき じぶん いし はた やくわり なに いし ちから なに
① 罪と闘う時、自分の意志の果たす役割は何か、また意志の力とは何か？

つみ たたか とき きも よ きも たいせつ
(罪と闘う時、どんな気持ちでいるのが良いのか、なぜそんな気持ちが必要なのか。)

に かんじょう しはい なに けつだん あやま さ
② 感情に支配されたまま何かを決断するという過ちを避けるためにはどうしたらよいか？

いか まか ほうほう なに
(怒りに任せない方法は何か。)

さん わたしたち なぜ しれん なか たぬ
③ 私達はなぜ、試練の中であって耐え抜かずにはいられないのか？

に にちようび しんり れい
2. 日曜日：真理の霊

わたしたち かみ いたい か ちから わたしたち うち はたら ねが かみさま わたし よ にんげん
私達は、神の偉大な変える力が私達の内にも働いてくださることを願って「神様、私を良い人間にして
ください」と祈っても変わらないのは、私達が神様の希望と反対のことを選ぶこともでき、神様の希望と反対
のことを選んでいるからです。

せいけい わたしたち つみぶか しんり しめ わたしたち むり く あらた かみさま しんり しん
聖霊は私達の罪深さについての真理を示しますが、私達を無理やりに悔い改めさせたり、神様の真理を信
じ従わせたりはしません。それは私達が試練の中にも同じです。試練があるのは、私達が神に従わず、
く あらた かみさま きぼう ほんたい えら ばあい しれん なか かみ いたい か
悔い改めず、神様の希望と反対のことを選んでいる場合があります。この試練の中でこそ、神は偉大な変える
ちから わたしたち はたら く あらた かみ みずか したが わたしたち おも ま わたしたち みずか
力を私達にも働かせて悔い改め、神に自ら従いたいと思ふように待っておられるので、私達は自
ら悔い改めたい、神様に従いたいと選ぶことが求められています。

さん げつようび かみ ひと きょうりよく

3. 月曜日：神と人の協力

人生で価値あることを成し遂げようと思えば、時間と努力を費やさねばなりません。私達がキリストの弟子になることも同じように時間と努力を費やさねばなりません。パウロの働きは、パウロ個人の大変な時間と努力を費やしてできたものですが、その働きはパウロの内に共に働く神の力によってパウロの内にもキリストの品性を養う事にもなったので、神と人が互いに協力し合って達成したものでしたとパウロは言います。神だけが動いて人間は何もしないで待っているのは、危険な考えです。

4. 火曜日：訓練された意志

私達が「こう成りたい」「こうしたい」と思う意志の最大の敵は、私達自身の感情(怒り、恐れ、欲望)です。感情(怒り、恐れ、欲望)は何が正しく、何が最善かと決めることに関係なく私達に働きかけてきます。だから感情(怒り、恐れ、欲望)は人を欺き、現実を歪めて見せ、誤った判断をさせて、人が自ら訓練を招く方向に向かわせることもあります。

ペトロはペトロの手紙 1：13の御言葉の中で、感情に流されることなく「…いつでも心を引き締め、身を慎んで、イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。」と聖書のみ言葉に基づいて自分はこう成りたいと思うように訓練して歩みなさいと教えています。

5. 水曜日：過激な措置

神が^{※1}「過激な」措置を必要とするのは、徐々に私達と私達の社会が神の御計画から離れてしまったからです。マタイ5：29、30の「過激な」言葉は、イエスが私達の体を傷つけることを求めているのではなく、イエスは犠牲を払ってでも私達が神の御計画から離れないようにしてもらいたいと求めておられるからです。私達が祈れば神が直ぐに私達の罪深い傾向を取り除いて下さると考えてはいけません。神は直ぐに私達の祈りを聴いて下さる時もありますが、神が私達の何かを諦めさせたり、何かを始めさせたりするために「過激な」言葉を用いる時もあります。

神は、私達が周囲の人々の騒音に心を奪われている時に、私達の注意を神様の側に向けるために「過激な」訓練を用い、私達が神から離れていたことに気づかせてくださいます。訓練は、私達が父なる神の御計画に戻るために強い決断をさせるための招きであると言えます。

※1 「過激な」措置：神が私達に、厳しい訓練を与えること

6. 木曜日：忍耐する必要

私達は何が正しいか、また正しいことを実行するためには「こう成りたい」「こうしたい」と私達が思わねばなりません。実際に大変な状況にある時に、神と神の約束にすがり続けることに困難を感じることも知っています。ここで重要な力の一つは「忍耐」です。忍耐は投げ出したりせず、継続し続ける能力です。聖書の中で忍耐の人はヤコブです。ヤコブは兄のエサウから長子の特権を奪い取った結果、兄エサウの殺意

おそ とうぼう とうぼうさき てん たち かいだん ゆめ み かみ みちび しゆくふく やくそく あた
を恐れて逃亡します。その逃亡先で天まで達する階段の夢を見て、神の導きと祝福の約束を与えられますが、
やくそく しんじつ かも ほしろう もと おも てんし あさ かくとう
この約束が真実であるのか神からの保証を求めます。そこでヤコブはイエスと思われる天使と朝まで格闘をし
さいご あし かんせつ はず げきつう なか つ にんたい かみ しゆくふく ほしろう もと
て、最後は足の関節を外される激痛の中、ただしがみ付くだけでしたが、忍耐して神からの祝福の保証を求め
ました。

しゆくふく あし かんせつ はず いた にんたい かみ つ あた わたしたち
ヤコブの祝福は、ヤコブが足の関節を外され、痛みを忍耐しながら神にしがみ付いて与えられました。私達
おな かも しれん いた にんたい しゆ つ あた しん しんこう
もヤコブと同じように神からの試練という痛みを忍耐しながら主にしがみ付いて与えられることを信じる信仰を
も つづ おも
持ち続けたいと思います。

なな きんようび けんきゅう
7. 金曜日：さらなる研究

ひと ひんせい かたち たいせつ ようそ わたしたち な おも いし
「人の品性を形づくるのに大切な要素は私達の「こう成りたい」「こうしたい」と思う意志にありましたが、
じんるい だらく のち ひと いし しはい ふこう ほろ みち みちび
人類がサタンによって墮落した後、人はサタンの意志に支配されて不幸と滅びの道に導かれてしまっている。」

きょうかい あかし だいがんごひやくじゅうごページ えいぶん
〔教会への証〕第5巻 5 15 頁、英文

にんげん かみ たす う じぶん よわ た じかく かれ にんげん
「人間は、神の助けを受けるために、まず自分の弱さ、足りなさを自覚しなければならない。彼(人間)は、
じぶん なか おお へんか お せんしん どりよく かれ にんげん め ねっしん
自分の中に大なる変化が起こるように専心努力しなければならない。彼(人間)は、目をさまして熱心にた
ゆまず祈り、努力しなければならない。悪い習慣や風習は捨て……あやまちを正し、正しい原則に調和する
いた どりよく わる しゅうかん ふうしゅう す ただ ただ げんそく ちょうわ
ように堅く決心して励んでこそ、勝利は得られるのである。多くの人は、当然得られる地位を得られないでいる。
かた けっしん はげ しゅうり え おお ひと とうぜんえ ちい え
というのは、彼ら(多くの人)が自分で実行するように神から力が与えられているのに、神が彼ら(多くの人)
かれ おお ひと じぶん じっこう かみ ちから あた かみ かれ おお ひと
のためにしてくださるのを待っているからである。……神は人間の努力に神の力を加えて助けてくださるので
ま かみ にんげん どりよく かみ ちから くわ たす
ある。」〔希望への光〕1 2 6 頁、「人類のあけぼの」上巻 2 8 4 頁